<原生自然環境保全地域、自然環境保全地域>内行為許可申請書

自然環境保全法<第 17 条第 1 項ただし書、第 25 条第 4 項、第 27 条第 3 項>の規定により、「 」、原生自然環境保全地域、自然環境保全地域の特別地区、自然環境保全地域の海域特別地区>内における行為の許可を受けたく、次のとおり申請します。

年 月 日

申請者の住所及び氏名

法人にあっては、名称、 住所及び代表者の氏名

<環境大臣、 地方環境事務所長> 殿

行為の種類	工作物の<新築、改築、増築>
目 的	
場 所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番<地先>
-20 171	
行為地及びその 付 近 の 状 況	
工作物の種類	
	敷 地 面 積
	規 模
	構造
施行方法	主要材料
	外部の仕上及び 色 形
	関連行為の概要
	施行後の周辺の 取 扱
予 定 日	着手
), YE [1	完了
/##	
備考	
	1

行	為の種	重類	<土地、海底>の形質変更
目		的	
			都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番<地先>
場		所	
行行	急地及び 近 の む	その 状 況	
形置と	質変更の なる行	原因 _了 為	
			変更する面積
			工事の方法
施	行 方	法	変更後の形質
			関連行為の概要
			変更後の取扱
予	定	日	着手
1,	Æ	Н	完了
備		考	

行 為(の 種	類	<鉱物の掘採、土石の採取>
目		的	
場		所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番<地先>
行為地)	及びそ の 状	つ 況	
鉱物< 種	土石>	·の 類	
施行	方	法	掘採又は採取方法 掘採又は採取量 掘採又は採取量 掘採取 設備 土地の形質を変更する面積 掘採又は採取後の土地の形質 関連行為の概要 掘採又は採取跡地の取扱
予 :	Ē	日	着手
備		考	完

行	為(か	種	類	<埋立、干拓>
目				的	
場				所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番<地先>
行行	為地 <i>。</i> 近 (及て の	バそ 状	の 況	
					埋立<干拓>面積
欱	% =	7	方	:+	工事の方法
施	1 J	Г <i>У</i>		冮	関連行為の概要
					埋立<干拓>後の 取 扱
予	ŗ	定			着手
],	,	Œ		日	完了
備				考	

	· ·		
行	為の種	類	水位<水量>に増減を及ぼさせる行為
目		的	
場		所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番
1-70		<i>[</i>]	
			地 況
行	為地及びそ 近 の 状	: の 況	現 在 の 水位 < 水量 >
			水の利用状況
水減る	位<水量>0 の 原 因 る 行	の増 と な 為	
			水位 <水量 >の 増減の及ぶ範囲
施	行 方	法	水位<水量>の 増減を及ぼす時 期 及 び 量
			設備
予	定	日	着手
1,	Æ	Н	完了
備		考	

	•		
行	為の種	類	木竹の伐採
目		的	
場		所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番
			林 種
			樹種
林		況	林
			森林全面積
			総 蓄 積
			伐採種別
			伐採樹種
			伐採面積
			平均樹齡
施	行 方	法	平均胸高直径
			伐採材積
			伐採材積歩合
			伐 採 設 備
			伐採跡地の取 扱
予	定	日	着手
,	<i>~</i>	-	完 了
備		考	

行	為	の	種	類	<木竹の損傷、植物の採取又は損傷、落葉又は落枝の採取>
目				的	
場				所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番
-70				<i>171</i> 1	
			びそ) 状		
採採物	取。 取 5 の	又I	員傷 は損 種	、 傷 > 類	
施	行	•	<u>.</u>	法	採取 <損傷、採取又 は損傷 >物の数量
ne	1 J		71	14	採取 <損傷、採取又 は 損 傷 > 方 法
	7-		定	日	着手
•	J.	,	λ C	Н	完了
				. د	
14 	莆			考	

行	為の	D 種	類	木竹	竹の植	直栽		
目			的					
場			所	都道	道府 児	₹、 7	市郡、	町村、大字、小字、地番
行付	為地及 近 0	ひ 状	その 況					
				植	栽	種	別	
				植	栽	面	積	
				植	栽	植	種	
施	行	方	法	樹			龄	
				植	栽	数	量	
				植	栽	方	法	
				管	理	方	法	
予	\forall \frac{1}{2}		日	着			手	
1,	λ.	Ē	Ц	完			了	
備			考					

行 為(D 種	類	<動物の捕獲又は殺傷、動物の卵の採取又は損傷>
目		的	
場		所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番<地先>
行為地及付 近 (及びそ D 状	つ 況	
動物<卵	>の種	類	
施行	方	法	捕獲又は殺傷<採取 又は損傷>物の数量
ון שוון	71		捕獲又は殺傷<採取 又は損傷>の方法
予	定	日	着手
],	Æ	H	完了
備		考	

行:	為(D :	種	類	家畜の	り放牧			
目				的					
場				所	都道府	守県、	市郡、	町村	、大字、小字、地番
均				<i>[</i>]					
行為付 :	3地及 近 <i>0</i>	うて D	バ て 状	·の 況					
					放	牧	面	積	
					家畜の	の種類	及び頭	数	
施	i 行	-	方	法	関連	行為	の概	要	
136) I.	,	7.1	14	放	牧	設	備	
					放	牧	時	期	
					管	理	方	法	
予	Ę	-		日	着			手	
1,	予 定			н	完			了	
備	i			考					

行為	もの	種	類	<火入れ、た	:き火>	
目			的			
場			所	都道府県、	市郡、昭	町村、大字、小字、地番
行為付 证	地及で f の	びそ 状	の 況			
				火入<たき火 の 及 ぶ 面	く> ii 積	
施	行	方	法	設	備	
				火入<たき火 後 の 耳	く> 以 扱	
				着	手	
予	5	Ē	日	完	了	
備			考			

行	為の種	類	物の<集積、貯蔵>
目		的	
場		所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番
坳		<i>F</i> /1	
行為	ーーー 急地及びそ 近 の 状	: の :況	
1 J		// 0	
集和	漬<貯蔵>物	Ŋ	
の	種	類	
			集積<貯蔵>方法
≯/ -	ζ− →	>±	土地使用面積
施	行 方	法	関連行為の概 要
			集積<貯蔵>設備
予	定	日	着手
٦,	Æ	Н	完了
備		考	
1			

行	為(D 種	類	<<車馬、動力船>の使用、航空機の着陸>
目			的	
場			所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番
-70			771	
行行	急地 <i>活</i>	うびそ D 状	つ 況	
-		- 1/1	,,,	
				立入らせるもの の 種 類 及 び 数
施	行	方	法	立入らせる範囲 及 び 面 積
				立入らせる方法
予	Ţ		日	着手
J,	^		Н	完了
備			考	

行 為 (カ 種	類	廃棄物の<廃棄、放置>
目		的	
場		所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番
行為地	及びそ	. ტ	
付 近(の状	況	
施行	方	法	廃棄物の種類 及 び 量
וו שת	71	14	放置する期間
予	÷	0	着 手
	定	日	完了
備		考	

行	為の	種	類						
目			的						
場			所	都道	道府 県	₹, 7	 市郡、	町村、大字、小字、地番	
-20			771						
行付	為地及 近 の	びそ 状	の 況						
				面			積		
				種			類		
施	行:	方	法	数			量		
				方			法		
				管	理	方	法		
予	定		日	着			手		
1,	Æ		Н	完			了		
備			考						

行	為の種	類	動物の放出
目		的	
場		所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番
行行	急地及びそ 近 の 状	- の 況	
			動物の種類
施	行方	注	放出数量
加也	1)))	14	放出の方法
			管理方法
予	定	日	着手
ブ 	Æ	H	完了
備		考	

行	為の種	類	汚水等の排出	
目		的		
場		所	都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番<地先> 指 定 湖 は湿原名	沼又
-70		771		
行為付	急地及びそ 近 の 状	た 況		
汚z び	水等の種類 原	類及 因		
			汚水等の処理 施設の種類、 規模、能力	
施	行 方	法	汚水等の水質	
			排出の時期及び量	
			指定水域等への 排 水 方 法	
予	定	日	着手	
ア	~_	н	完了	
備				
		考		

行	為	の	種	類	物の)係	2		
目				的					
場				所	都道	直府屿	県、 市	 市郡、	町村、大字、小字、地番<地先>
行	為地 近	!及 の	びそ 状	つ 況					
物	Ø)	種	類					
					占面	月する	る海回	面の 積	
施	行	行	方	法	係	留	設	備	
					係	留	方	法	
予		定		日	着			手	
				н	完			了	
備				考					

(参考)

- 1 様式第1-1に、様式第1-1-1~18 のうちから該当するものを添付して申請書と する。
- 2 規則第2条第2項により、申請書には、次に掲げる図面のうち必要なものを添付する。
- (1)縮尺5万分の1程度の地形図
- (2)縮尺5千分の1程度の概況図
- (3)天然色写真(カラー写真)
- (4)縮尺千分の1程度の平面図、立面図、断面図、構造図及び意匠配色図(立面図に採 色したものでも可)
- (5)縮尺千分の1程度の復元計画を明らかにした図面
- 3 申請書の記載にあたっては次のことに注意する。
- (1)申請文の「」の箇所には当該原生自然環境保全地域又は自然環境保全地域の名称 を記入すること。
- (2) < >内の文字については不要なものをまっ消すること。
- (3)「目的」欄には、当該行為を行う目的及び必要性を具体的に記入すること。
- (4)「行為地及びその付近の状況」欄には、地形、植生、海域にあっては海底の形質、 着生する動植物、水深等周辺の水況を示すに必要な事項を記入すること。 なお、詳細については、添付図面に表示すること。
- (5)様式第1-1-3の「掘採又は採取方法種別」欄には、露天掘、坑道掘、横坑、たて坑、斜坑等の種別を記入すること。
- (6)様式第1-1-6の「林種」欄には、針葉樹林、広葉樹林、天然林、人工林等を記入し、「伐採種別」欄には、皆伐、単木択伐、塊状択伐の別を記入し、「伐採設備」欄には、索道、貯木場等の関連行為の概要を記入すること。
- (7)様式第1-1-8の「植栽種別」欄には新植、補植の別を記入すること。
- (8)「関連行為の概要」欄には、支障木の伐採、支障となる動植物の除去、残土の処理、 工事用仮工作物の設置等当該行為に伴う行為の種類、及びその施行方法を記入すること。

なお、詳細については添付図面に表示すること。

- (9)「備考」欄には、次の事項を記入すること。
 - ア 他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を 必要とするものであるときは、その手続の進捗状況
 - イ 土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否又はそ の見込み
 - ウ 過去に自然環境保全法の許可を受けたものにあっては、その旨並びに許可処分の 日付、番号及び付された条件等
 - エ 当該申請に関する連絡先(電話番号又はメールアドレス)なお、申請者と 担当者が異なる場合は、担当者の氏名、役職、連絡先等を記載すること。
 - オ 様式第1-1-3、第1-1-6、第1-1-7及び第1-1-9については、

申請者以外に当該行為を行う者がいる場合は、その者の氏名を記入すること。

4 申請書の用紙の大きさは、日本産業規格 (JIS) A 4 とすること。